

上位9人が突破

【第50回報知キス釣り選手権】SESSYA CUP 鳥取予選が5月26日、鳥取・境港市の弓ヶ浜で88人が参加して行われた。競技時間は午前6時から4時間、釣ったキスの尾数で順位を競い、西向雅之選手が優勝した。

- 【主催】報知新聞社
- 【後援】全日本サーフキスティング連盟
- 【協賛】株式会社SESSYA
- 【協力】株式会社ライン、株式会社あめ針、GAMAKATSU、P.T.E.、L.T.D.、キリンビバレッジ、東邦産業株式会社

西向 貫禄104尾

歴代名人



之選手(石川鯉酔会)が104尾でトップ。83尾の島野忠實選手(石川鯉酔会)からシード権保持者を除く上位9人が決勝大会(9月1日、鳥取弓ヶ浜)に進出した。



報知キス釣り選手権・SESSYA CUP

歴史ある報知キス釣り選手権。当日は日本各地からキス釣りのSESSYA CUPの50周年を祝うかのように今回の鳥取予選は、エキスパート88人が参加し、大会天気に恵まれ、キスの数も伸びて、人気高さがうかがえた。キス綱100尾を超える釣果が出た大会が入ったせいも全体的に型は小さ

上位入賞を果たした(前列左から)伊藤、高井、吉田敏昭、島野、西向(後列左から)田中、上田、吉田忠弘、上田、花田、渡辺の各選手(上)104尾を釣り上げた西向選手

◇鳥取予選の通過者◇

選手名	所属クラブ	尾数
1 西野田井藤中	山会西サ根	101
2 西島吉	同連盟	101
3 伊田	同連盟	101
4 渡花上	同連盟	101
5 丸	同連盟	101
6 丸	同連盟	101
7 丸	同連盟	101
8 丸	同連盟	101
9 丸	同連盟	101
10 丸	同連盟	101
11 丸	同連盟	101

かったが、ポイントや飛距離にまつては20年オバーの良型キスも交じり、盛り上がった予選会だった。

午前6時の時報と同時に試合開始。1時間が経過し、本部から見ると、場所△はあったものの選手は20、30尾(KFを釣っていた。中でも田中義一(KF、関西)さんは6、7色で、型の良いキスを掛け、既に50尾ほどの釣果があった。また本部前の川の近くのポイントへ入っていた西向雅之(石川鯉酔会)歴代名人は、近くから6色までの広い範囲を攻めて60尾以上のキスを釣っていた。

8時半ごろから左リアの端から本部前まで釣果を聞くと、30、40尾の選手が多く、開始早々には多量に掛かっていたが食いが入り、超速投すると沖に入っている網に掛かり高切れた選手も何人かいた。前日の試し釣りがかなり釣れたエリアでは、大会当日は選手が殺到して非常に込み合い、つぶし合いになった感じがした。前

新製品 ささめ針はキスをしたアスリート タングステン天秤「写真」を発売中。材質に高比重のタングステンが使用され、鉛と比べ体積を37%もコンパクト化。また、天秤の太さや長さもこだわり、針掛かりのよさを追求。選投性と掛かりを両立させる絶妙なバランス設計で競技会でもフライキャストでも活躍は間違いない。27号2750円、30号3000円(いずれも定価、税別)。サイズは共に天秤長さ330mm、線径1.2mm。

針掛かりのよさを追求

日釣れていても当日のポイントで好調に釣れるとは限らず、ポイント選択は大きな賭けとなることだ。

今年の決勝戦は、9月1日に今回の予選会場と同じ鳥取弓ヶ浜で開催される。今回、鳥取県からはシード選手を除いて9人が名譽ある決勝戦に進出することになった。予選会同様、決勝戦での健闘を期待する。

(報知APG・野村 道雄)

▼予選通過人数 基本的に上位1割とし、端数は繰り上げ。今回は88人中シード選手を除く9名に決勝大会進出の権利が与えられた。

丸マルキエー釣れ